



山本 章夫

名古屋大学大学院工学研究科教授。1987年京都大学学士課程修了（球面調和関数法に基づく輸送理論）、理学士（原子核工学）。1989年京都大学修士課程修了（高転換型軽水炉の臨界実験と分析）、修士（原子核工学）。1998年京都大学博士課程修了（軽水炉の装荷パターン最適化法）、博士（エネルギー科学）。1989年から2003年、原子燃料工業株式会社にて商用軽水炉の炉内燃料管理および関連方法論開発を担当。

現職においては、既存および第4世代原子炉（Gen-IV）の核設計手法の高度化、感度解析および不確実さの定量化、並列計算および分散計算を用いた大規模シミュレーション、炉内燃料の最適化、原子炉物理学に関する教育、そして原子炉の安全性に注力する。

軽水炉、核燃料施設の新規制基準策定委員会、福島第一原子力発電所の監視・評価に係る委員会、原子炉安全専門審査会など、原子力規制委員会（NRA）のさまざまな活動に従事している。核燃料安全専門審査会の審査長を務める。

日本原子力学会（AESJ）会員、米国原子力学会（ANS）特別研究員。